

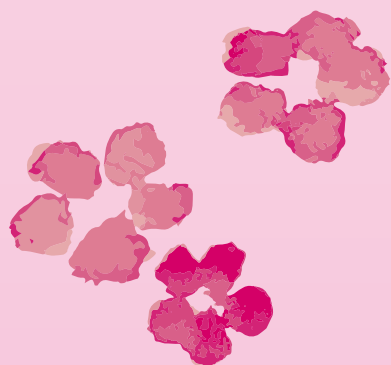
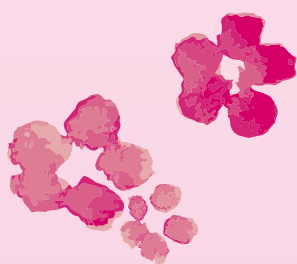
日本映画の振興と教育・福祉事業を支援

山路ふみ子

文化財団の歩み

—山路ふみ子文化財団の今を綴る広報誌—

令和6年度



ご挨拶



岩崎 光洋
(理事長)

時の流れのなんと速いことでしょうか。昭和

五十一年に設立いたしました財団法人山路ふみ子文化財団が公益財団法人として認可されたのは平成二十三年。設立時から数えますと四十八年、ほぼ半世紀の歩みを達成したことになります。想い返しますと、四十五回の映画賞贈呈式、そして十二回の名画特別上映会など、全て創設者山路先生のご遺志に沿った、有意義な社会貢献事業の歩みの一環であったと思います。

半世紀にわたる財団の活動が極めて順調に推移できたのも、財団を支えてくださいました歴代の多くの理事・評議員・監事の方々、ならびにボランティアの方々との並々ならぬご尽力によるものです。ここに改めて深く感謝申し上げます。次第です。

令和七年三月三十一日をもって当財団は解散いたします。従いまして、この「財団の歩み」もこれが最終版となります。皆様には是非とも

この「財団の歩み」を折に触れご覧いただき、創設者である山路ふみ子先生が残された当財団を半世紀にわたり、その魂と遺志を見事に伝承し、素晴らしい社会貢献を達成した証として思い起こしていただければ、これに勝る喜びはありません。

当財団の日本映画界への貢献については、総計二八〇名の個人・団体の方々を顕彰することができた点と、全国の様々な映画祭の口火役的存在となり得たように思います。映画賞贈呈式で受賞された山田洋次監督や吉永小百合さんが、その折に山路先生の日本映画への貢献に感謝する感動のスピーチが私たちの心に、いつまでも響き続けています。

半世紀にわたる当財団はここで幕を引くことになりましたが、山路先生の崇高なる社会貢献への思いを胸に納め、その精神を忘れることなく、これからの人生のあらゆる場面で役立て、社会に貢献する気概を失うことなく頑張っていく所存です。

甚だ簡単ではございますが、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、最後のご挨拶とさせていただきます。



財団役員一覧

(令和六年五月十五日現在)

理事長 岩崎 光洋

常務理事 佐藤 善志

理事 岩崎 光洋
佐藤 善志
赤坂 由美
坂本 敦子
橋本 寿史
田村やよひ
篠澤 礼子

監事 杉野 浩之
坂田 英夫
鈴木 伸東

評議員 小松 浩子
村上 俊夫
藤間 弥生
大久保 武
鶴見 保

平岡 鉄夫

押山 芳子

「映画賞授賞式」終了に伴う『感謝の集い』

山路ふみ子映画賞贈呈式「感謝の集い」について

『感謝の集い』を顧みて



佐藤 善志
(常務理事)



橋本 寿史
(理事)

さんのおかげだと思っています。そして、皆さんにとっては、財団の思い出の一つになれば幸いです。

巻末の「財団創立から今日までの歩み」とおり、この映画賞贈呈式は一九七七年（昭和五二年）四月二三日に、東京・東條会館ホールにおいて「第一回山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」と称してスタートいたしました。

その後コロナ禍による中断も挟みながら、二〇二二年（令和四年）十一月二十五日の第四十五回まで、約半世紀にわたって回を重ねて参りました。

これも偏に、受賞者の皆様を始め、選考委員の先生方、開催会場の関係者の皆様、そして趣旨に賛同し協力してくださったボランティアの方々や学生の皆様の並々ならぬご理解とご支援があったからこそ実現できたものと改めて感謝の気持ちで一杯です。企画から運営まで全く素人の集団で「兎にも角にもアットホームな雰囲気！」を合言葉に執り進めて参りました。ご無礼な点多々あったかと存じますが、皆様に温かく見守っていただけたことで

ここまでやって来ることができました。ただ、物事にはスタートがあればゴールはつきものです。関係者で幾度も議論を重ね、最終的にはこのタイミングで綴帳を降ろすことを決定いたしました。

併せて、贈呈式の終了にあたり、これまでご支援いただきました皆様方に少しでも御礼の気持ちを形にできればという想いで「感謝の集い」を企画・開催いたしました。

「感謝の集い」進行次第

- 一 開会挨拶 司会 理事 坂本敦子
 - 一 本事業実行委員長 理事 橋本寿史
 - 一 挨拶 理事長 岩崎光洋
 - 一 回想 受賞者の想い出 泉 悦子様
 - 一 回想 司会の大役を担当して 今泉朋子様
 - 一 回想 受賞者の想い出 すすきじゅんち子様
 - 一 回想 選考委員を仰せつかつて 鈴木 元様
 - 一 回想 受賞式会場もご利用いただいて 近藤明男様
 - 一 乾杯（発声） 日本教育会館一ツ橋ホール 鶴野泰之様
 - 一 式次第から足跡を追って *** 暫し歓談ください ***
 - 一 本事業実行委員 評議員 村上俊夫
 - 一 中締め この出会いと想い出を大切に 常務理事 兼 事務局長 佐藤善志
- 本日はお寒い中をありがとうございました 坂本敦子

山路ふみ子映画賞は、令和四年十一月、その長い歴史に幕を閉じました。四十五回の授賞式の間に、どれだけの方が受賞し、その裏でどれだけの人が関わっていたただけたのか、考えても見えてこない人数が想像できます。

その方々、全ての皆さんをお呼びすることはかなわぬことですが、お手伝いいただいた方に少しでも感謝の気持ちをお伝えできればという趣旨で、一月二十七日に「感謝の集い」を開催いたしました。

おいでいただいた方から、「あたたかな雰囲気」「いい会でした」などと感じていただいたことは、私にとっても大きな喜びでした。

こうした会になったのも司会進行、プロジェクト、受付、誘導、セットアップなど、おいでくださる方に感謝の気持ちを伝えるために、共に進んでくれたスタッフのみなさん、さらに当日お手伝いくださった皆



感謝の集い会場



日本都市センター会館



名画特別上映会 in 兵庫県・神戸市看護学校



本学での名画特別上映会を終えて

神戸市看護大学ならびに山路ふみ子文化財団による「名画特別上映会」に参加して



江川 幸二 (神戸市看護大学 学長)

二〇二三年九月十五日(金)の午後、大学のホールにおいて、山路ふみ子文化財団様との共催による名画特別上映会を開催致しました。山路ふみ子先生が神戸のご出身というご縁もあり、文化財団様から本学にお声かけいただいたて、実現したものです。当日は地域住民の皆様および学生や教職員を含め二百十九名の方々にご参加いただき、学園都市混声コーラスグループによるミニコンサートの後、「山路ふみ子物語」および「ディア・ドクター」の上映をおこないました。

地域住民の方々による混声コーラスでは、季節の歌を順に披露され、その心温まる歌声に魅了され、気持ちが高やかになっていくのを感じました。地域住民の皆様とこうした形で触れ合うことができたのも、名画特別上映会の開催の機会があったからこそだと思います。

映画「ディア・ドクター」は僻地医

療をテーマにし、医師を題材に描いたものですが、ケアとは何かを考えさせてくれる内容で、看護にも通じるものがあると感じました。終了後のアンケートでも「感動した」「普通の映画館では上映されない映画でも良かった」「人情味がある映画だった」といった感想が寄せられました。さすがに山路ふみ子映画賞を受賞した作品だと思います。

またアンケートに「コロナ以来、久しぶりに劇場で見るのができた」という声がありました。コロナ禍ではこれだけ多くの地域住民の皆様と同じ空間で午後のひとときを過ごすことはできませんでした。今回は地域住民と教職員の交流を深める本場に貴重な機会となりました。本学にこうした機会を与えてくださいました山路ふみ子文化財団の皆様方に心より感謝申し上げます。



小松 浩子 (評議員)

敬老の日にあたる九月十五日、神戸市看護大学において「名画特別上映会」が開催されました。今回の「名画特別上映会」は色々な意味で山路先生にゆかりのある会となりました。第一に、山路先生の生地での開催、そして山路ふみ子専門看護教育研究助成基金の創設時から運営委員長として尽力されてきた南裕子先生が学長として勤められた神戸市看護大学において開催されたことです。

イタリアのフィレンツェを思わせる素敵な大学ホールには、神戸市学園西町の住民の方々が三々五々集われ、澗とした学生ボランティアの皆さんのあたたかなまなざしの中で、開会式が始まりました。神戸市看護大学江川幸二学長から、神戸市看護大学が地域に開かれた大学として、本上映会が地域の方々との絆の中で開催されているとお話がありました。

上映会に先立ち、岩崎理事長から山

路先生の生き方について感銘深いお話があり、それに引き続き、南先生より山路ふみ子専門看護教育研究助成基金創設に際し、山路先生による「自分の幸せを他の人と分かち合うことで得られる心の豊かさ」という信念や「看護の未来」への信頼が今の看護学の発展を導くとお話を頂きました。

学園都市混声コーラスによる心温まる合唱が披露され、その余韻の中で、「山路ふみ子物語」そして「ディア・ドクター」が上映されました。「ディア・ドクター」は、人と人とが思いやり、痛みを分かち合う「ケア」という営みの大切さをテーマにしており、まさしく、今回の映画上映会にふさわしい作品でした。

本上映会の開催の労をお取りいただきました神戸市看護大学の皆様をはじめすべての方々に心より御礼を申し上げます。



ご案内フライヤー



神戸市看護大学

名画特別上映会 in 東京・国立看護大学校

「ペコロスの母に会いに行く」名画上映会の機会を頂いて

「ペコロスの母に会いに行く」名画上映会に参加して



綿貫 成明
(国立看護大学校
研究課程部長)

二〇二三年の穏やかな秋の日、山路ふみ子文化財団の「名画上映会」を国立看護大学校で開催する貴重な機会を頂きました。私自身、「山路ふみ子専門看護教育研究助成基金」のお世話になった一人として、恩返しさせて頂きたいという気持ちで実行委員長を拝命しました。山路ふみ子文化財団の関係の皆様にご助言、お力添えを頂きながら、上映会当日を無事迎えることができ、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

上映会では「映画を観て、認知症について考えよう」というテーマを設定し、本大学の「秋の公開講座」および後援の清瀬市「きよせ健幸大学」の一環としても開催させて頂きました。当日は、上映会を楽しみに遠方から来られた方々、清瀬市と近隣の方々、学生と教職員の二百名を超える参加がありました。当日は、老年看護学教員の講義もあり、上映前は映画鑑賞に必要

な認知症の基礎知識を確認し、上映後は映画の印象的な場面を振り返り、認知症高齢者の方にとっての意味や介護家族の対応の仕方の解説がありました。今回上映した「ペコロスの母に会いに行く」では、主人公と認知症がある母親、その周りの人達との涙と笑いの関わり合いを中心に物語が展開していきます、認知症と介護の当事者同士の視点から、人の一生、家族との関係をじっくり考え直す機会を頂きました。アンケートからは、参加された方のご家族の介護体験や福祉現場の勤務体験に引き付けて感想を寄せられた方も多くいらっしゃいました。講義後の熱心な質疑応答からも、参加者の皆様の関心・意識の高さと、それに呼応できる社会の仕組みと人材育成が重要であると改めて実感しました。今回の上映会が、認知症に関係する方々にとって、希望と尊敬を持った暮らしができる社会に近づくための一助となれば幸いです。



田村 やよひ
(理事)

好天に恵まれた晩秋の午後、かつて勤務した清瀬市の国立看護大学校で名画上映会が開催されました。平日のため、二百名を超える参加者の大半は中高年の市民でした。開会式では菅間真美大学校長と岩崎光洋理事長のご挨拶に続き、当職から「山路ふみ子専門看護教育研究助成基金」について紹介させて頂きました。山路先生は三十余年前にこの基金を設立され、これまでに看護学の博士課程学生約四百五十人が助成金を頂き、大学での看護学教育を拡充する人的基盤を作られたことについて感謝を込めて話しました。

今回の名画上映会は、大学の公開講座として、また市の「健幸大学」の取組みとも連携していました。そのため、上映前には老年看護学の教員による認知症の基礎知識と、映画を鑑賞する際の視点について短時間の講義がありました。上映後は映画の場面を想起しつつ、認知症の人への接し方や家族

の気持ちの変化などの説明があり、多くの質疑応答もありました。参加者の方々はこの上映会を通じて、認知症の人への理解を深めるとともに、その家族になったときの心持ちを学ぶという貴重な機会になったと思われれます。認知症は今や、超高齢社会日本の大きな課題です。昨年は認知症基本法が制定され、治療薬も承認されましたが、誰もが認知症になり得ることを前提に、認知症になっても安心して暮らせる、共生社会の構築を目指さなければならぬと強く思った一日でした。



ご案内フライヤー



国立看護大学校



名画特別上映会 in 栃木・宇都宮大谷コネクト



大谷地域の更なる振興に向けて



大久保 裕之
(実行委員長)

宇都宮市大谷町は「大谷石」の産地であり、特異な景観を活かして映画の撮影も多数行われてきました。一方で、かつて市内はたくさん映画館で賑わっていましたが、近年その数が減少し、地域のお年寄りも映画から足が遠のいている様子でした。そのような中、昭和初期に地域の娯楽の場として親しまれた「旧大谷公会堂」が宇都宮市によって復原されるとともに、財団から様々な地域において映画の上映を通じた地域振興支援に取り組みられていることを伺い、上映会の開催を契機として地域振興を推進したいという思いで、宇都宮市とも相談しながら、上映会を開催することとなりました。



ご案内フライヤー



また、上映会の合同には、作品の舞台である沖縄の伝統芸能「エイサー」の演舞を鑑賞するなど、地元が団結して盛り上げた会場は大きな拍手や声援に包まれました。

今回の実績を踏まえ、今後とも文化・芸術の振興を通じた地域活性化に取り組み、将来にわたって輝き続ける大谷のまちづくりを推進していきたいと考えています。

最後に、公益財団法人山路ふみ子文化財団の皆様には多大なるご協力や多方面にわたるアドバイス・ご支援をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。



大久保 武
(評議員)

令和五年十二月三日、新装なった宇都宮市の「大谷コネクト」において、名画特別上映会 in 大谷（宇都宮）実行委員会主催、宇都宮市と公益財団法人山路ふみ子文化財団共催による「名画特別上映会」が開催されました。文化財団側で準備の端くれを担った関係で、私も市と財団の共同主催による前日のレセプションからこの行事に参加させていただきました。

会場となった「大谷コネクト」は、国登録有形文化財に登録されていた旧大谷公会堂（地元の更田時蔵氏の設計）を解体し、市営駐車場跡地に復元する形で移築、併せてビクターセンターなどを整備、大谷観光の中核を担う施設として十一月二〇日にオープンしたばかりだと伺いました。大谷石造りの公会堂は、ロマネスク風の彫刻が施された四本の付け柱を持ち、小さな教会を思わせる美しい姿を見せておりましたが、日光市で生まれ育った私には、大谷石の蔵を背に遊んだ頃を思い出させるものもありました。

令和五年十二月三日、新装なった宇都宮市の「大谷コネクト」において、名画特別上映会 in 大谷（宇都宮）実行委員会主催、宇都宮市と公益財団法人山路ふみ子文化財団共催による「名画特別上映会」が開催されました。文化財団側で準備の端くれを担った関係で、私も市と財団の共同主催による前日のレセプションからこの行事に参加させていただきました。

上映作品は、五十嵐匠監督の「島守の塔」で、沖縄本土復帰五十年目の二〇二二年に公開された作品でした。沖縄戦で犠牲もいとわれないとしていた軍部と対立しながら、県民の県外避難に奔走した末、共に四十歳前半の若さで散った沖縄県知事と沖縄県警察部長の二人の官僚の生き様を描いたものでしたが、その警察部長が宇都宮市（旧清原村）出身の荒井退造氏とのこと。開演前には、映画製作委員会の統括責任者でおられた綱川仁士様から、コロナ禍で撮影中断があり苦難の末によりやく完成に漕ぎつけた映画だとの説明があり、加えて最後のシーンを演じられた女優香川京子さんからの直筆メッセージの紹介がなされたこともあって、より強く印象に残る映画となりました。



宇都宮大谷コネクト

看護助成の近況・奨学基金の近況

山路ふみ子専門看護教育研究助成基金とは

平成二年（一九九〇年）山路先生がお母様とご自身の病氣療養後、新たに創設した社会貢献事業は、長年お世話になった看護師の皆様への恩返しでした。当時聖路加看護大学の南裕子教授とのご相談の結果設立したのが、我が国の将来の看護学の諸分野で研究中の優秀で将来看護職の教育・指導または看護研究に携わる大学院博士課程の学生への研究助成を目的とした公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金です。

今から三十年以前に、既に高齢者問題、医療技術の高度化、末期がん患者のケアーなど、西欧諸国に比べると遅れを取っていた我が国の近代看護学研究分野の研究者育成の重要性に目を向けられていた山路先生の知見の高さに改めて感服するばかりです。迷った時は躊躇なく、その道の専門家のアドバイスを求め、より最善の道を追求することは、何事においても忘れてはならない重要なことだと思えます。今やこの基金の受給者の総数は約四百名に至り、その多くの方々が各看護系大学の教員、看護師、助産婦、保健師として活躍され、山路先生が何よりも大切にしていた「慈しみの心、いたわり之心」も、未来を担う若き看護職の方々にも間違えなく継承されつつあると聞き、本当に嬉しく思います。

最後にになりましたが、この基金に常に心を砕き、実り多き運営にご尽力いただいております、とくに南・田村・小松各先生に心から感謝申し上げます。次第です。

最後にになりましたが、この基金に常に心を砕き、実り多き運営にご尽力いただいております、とくに南・田村・小松各先生に心から感謝申し上げます。次第です。

（文責・岩崎光洋）



令和5年5月26日 公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金 令和5年度贈呈式

公益信託山路ふみ子奨学基金とは

くも膜下出血から回復された山路ふみ子先生は、昭和六十一年麹町三番町のご自宅を売却し、社会貢献事業として始めたのがこの基金で、平成元年に設立いたしました。設立の趣旨は「交通事故以外の原因により保護者が死亡、または著しい後遺症があり、経済的理由により就学が困難な高校生に対し、返還不要の月額二万円（令和六年度より三万円）を支給しています。現在のところ、運営委員により毎年全国の指定校一六四校からの学校長推薦者から二〇名程の選考を行っています。

書類の中には、まことに不運な事例も多く、選考に苦慮する場面もしばしばです。しかし、何よりもこのような辛い境遇にも負けず、しっかりと将来を見つめ努力する頼もしい高校生の姿には、日本の明るい未来が見えるように、感動を覚えます。

時代の移ろいと共に、益々経済弱者にとつて厳しい現実となりつつあります。設立当初の募集対象地域は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県としていましたが、その後茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、さらに沖縄県、青森県、長崎県、宮崎県、高知県などを追加し、支援の輪を拡充することに努めています。現在までの受給者卒業生の総数は約七百名に至っています。

苦難のなかでも懸命に努力する若者

に、惜しみなく支援したいという山路先生の遺志は、これから十年間は継続されることとなると思います。

（文責・岩崎光洋）

※詳細はホームページをご覧ください

公益信託 山路ふみ子奨学基金 2024年度 奨学生推薦事項	
1. 応募資格	(1) 奨学支援対象の範囲により、保護者が死亡又は著しい後遺症が存在している者 (2) 卒業、人物とも優秀かつ謙遜で、学業の支那が顕著な者 (3) 全日制の生徒
2. 推薦の考え方	本基金が指定する高等学校（※詳細）に在学中、卒業、人物とも優秀かつ謙遜で、学業の支那が顕著な者 (例、推薦の奨学金は返還不要です。)
3. 他の奨学金との重複受給	有りません。
4. 今年度の推薦枠（応募人数）	上記の通り（奨学生定員20名）
5. 応募書類	(1) 奨学生推薦書 (2) 奨学生推薦書 (3) 収入を証明する書類（給与・自費：源泉徴収票または確定申告書）

公益信託 山路ふみ子奨学基金 2024年度 奨学生募集要項	
1. 応募資格	本基金が指定する高等学校（※詳細）に在学中、卒業、人物とも優秀かつ謙遜で、学業の支那が顕著な者 (例、推薦の奨学金は返還不要です。)
2. 応募書類	(1) 奨学生推薦書（本人） 奨学生推薦書（学校） 収入を証明する書類（給与・自費：源泉徴収票または確定申告書） (2) 提出期間 2024年5月15日（月）～ 2024年5月15日（日） (3) 提出場所 2024年5月15日（月）～ 2024年5月15日（日） (4) 提出方法
3. 募集人数	1年度あたりを募集し、1年度ごと推薦枠の枠内で募集いたします。

山路ふみ子専門看護教育研究
助成基金・照会先
三井住友信託銀行
山路ふみ子看護助成担当
TEL 03-5232-8910
FAX 03-5232-8919

山路ふみ子奨学基金・照会先
三井住友信託銀行
山路ふみ子奨学基金担当
TEL 03-5232-8910
FAX 03-5232-8919

財団の創立から今日までの歩み

(敬称略)

1976年(昭和51年)～1985年(昭和60年)

1977年(昭和52年)

- ・ 4月23日 第1回「若人のための洋画名作観賞会」を開催
於：東京都千代田区・国立教育会館虎ノ門ホール
上映映画『小さな恋のメロディ』『彫る・棟方志功の世界』
この試みが、この年の秋から始まる映画賞に繋がりました
- ・ 11月18日 第1回「山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・東條会館ホール
贈呈式次第より
挨拶 理事長 荒井 良雄 会長 山路 ふみ子
審査報告 審査委員代表 佐藤 忠男
第1回映画賞 新藤 兼人
第1回映画功労賞 衣笠 貞之助 浦部 粂子
受賞記念上映映画：竹山ひとり旅／新藤 兼人
十字路／衣笠 貞之助

1979年(昭和54年)

- ・ 11月10日 第3回「山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」を開催
於：東京都豊島区・学習院創立百周年記念会館
受賞記念上映映画：復讐するは我にあり／今村 昌平

1981年(昭和56年)

- ・ 11月20日 第5回「山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・東條会館ホール
受賞記念上映映画：遠雷／根岸 吉太郎

1983年(昭和58年)

- ・ 11月25日 第7回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・国立教育会館虎ノ門ホール
受賞記念上映映画：曾根崎心中／栗崎 碧

1985年(昭和60年)

- ・ 11月25日 第9回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都港区・ヤクルトホール
受賞記念上映映画：それから／森田 芳光

1976年(昭和51年)

- ・ 4月26日 文部大臣より財団法人山路ふみ子文化財団を設立することが認可されました
(設立申請者・大久保 ふみ子)
理事長 荒井 良雄
理事 大久保 ふみ子(山路 ふみ子)
茅 誠司 増本 量 内藤 誉三郎 稲葉 秀三
岡部 龍馬 西川 寿一
監事 加藤 信吾 三木 敏雄

1978年(昭和53年)

- ・ 11月18日 第2回「山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・東條会館ホール
受賞記念上映映画：帰らざる日々／藤田 敏八

1980年(昭和55年)

- ・ 11月21日 第4回「山路ふみ子映画賞・映画功労賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・東條会館ホール
受賞記念上映映画：アフリカ物語／羽仁 進

この回から財団特別賞が加わりました

1982年(昭和57年)

- ・ 11月19日 第6回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・霞が関ビル34階・霞会館
受賞記念上映映画：蒲田行進曲／深作 欣二

この回から「山路ふみ子賞贈呈式」と名称変更されました

1984年(昭和59年)

- ・ 7月20日 映像ライブラリー設立
- ・ 11月21日 第8回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・帝国ホテル鶴の間
受賞記念上映映画：お葬式／伊丹 十三

この回から文化賞が加わりました

1986年(昭和60年)～2002年(平成14年)

1987年(昭和62年)

- ・11月25日 第11回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都港区・ヤクルトホール
受賞記念上映映画：ハチ公物語／神山 征二郎

1989年(平成元年)

- ・8月8日 看護学を専攻する大学院生対象の「公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金」設立
公益信託として三井住友信託銀行に寄託
- ・11月28日 第13回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画：北京的西瓜／大林 宣彦
- ・12月20日「公益信託山路ふみ子奨学基金」設立

1991年(平成3年)

- ・4月24日 点字と朗読奉仕活動の拠点として、東京都豊島区目白に「山路ふみ子記念・読売ボランティアセンター」を開設
- ・11月25日 第15回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：八月の狂詩曲／黒澤 明
この回から「山路ふみ子映画賞贈呈式」と名称変更されました

1993年(平成5年)

- ・3月30日 「振興キネマ―戦前娯楽映画の王国」初版発行
(キネマ旬報社刊)
発行：財団法人山路ふみ子文化財団
編者：佐藤 忠男 登川 直樹 丸尾 定
- ・11月30日 第17回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：学校／山田 洋次

1995年(平成7年)

- ・11月24日 第19回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：午後の遺言状／新藤 兼人

1997年(平成9年)

- ・11月28日 第21回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：うなぎ／今村 昌平

1999年(平成11年)

- ・11月26日 第23回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：鉄道員(ぼっぼや)／降旗 康男

2001年(平成13年)

- ・11月30日 第25回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：千と千尋の神隠し／宮崎 駿

1986年(昭和61年)

- ・11月23日 第10回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都千代田区・有楽町センタービル
朝日ホール
受賞記念上映映画：キネマの天地／山田 洋次

1988年(昭和63年)

- ・4月30日 港区元赤坂1-1-7-1201を新財団事務所として1400万円で購入
- ・5月8日 役員交代人事 新理事長に岩崎光洋が就任
- ・11月22日 第12回「山路ふみ子賞贈呈式」を開催
於：東京都港区・ヤクルトホール
受賞記念上映映画：となりのトトロ／宮崎 駿

1990年(平成2年)

- ・11月27日 第14回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画：桜の園／中原 俊

1992年(平成4年)

- ・11月27日 第16回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：遠き落日／神山 征二郎

1994年(平成6年)

- ・5月13日 「命あるかぎり贈りたい」初版刊行(草思社刊)
- ・11月25日 第18回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：居酒屋ゆうれい／渡邊 孝好

1996年(平成8年)

- ・11月30日 第20回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：絵の中のほくの村／東 陽一
- ・12月21日 財団創立20周年記念パーティー
於：東京都千代田区・帝国ホテル

1998年(平成10年)

- ・11月27日 第22回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：愛を乞うひと／平山 秀幸

2000年(平成12年)

- ・11月24日 第24回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：雨あがる／小泉 堯史

2002年(平成14年)

- ・11月29日 第26回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：命／篠原 哲雄



2003年(平成15年)～2015年(平成27年)

2004年(平成16年)

- ・ 6月15日 財団事務局を「千代田区三番町五番地」より「港区元赤坂1-1-7-1201」に移転
- ・ 11月26日 第28回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：父と暮せば/黒木 和雄
- ・ 12月6日 創立者・山路ふみ子先生92歳で永眠
- ・ 12月19日 「故 山路ふみ子先生お別れの会」
於：東京都新宿区・学習院女子大学二号館やわらぎホール

2006年(平成18年)

- ・ 11月24日 第30回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：雪に願うこと/根岸 吉太郎

2008年(平成20年)

- ・ 10月4日 「名画特別上映会」プレ開催
於：東京都豊島区・
学習院創立百周年記念会館 正堂
- ・ 11月28日 第32回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
授賞記念上映映画：ぐるりのこと。/橋口 亮輔

2010年(平成22年)

- ・ 10月22日 第1回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・新文芸坐
- ・ 10月30日 第2回「名画特別上映会in静岡県伊豆稲取町」
於：静岡県伊豆稲取町・東伊豆町立稲取小学校 体育館
- ・ 11月26日 第34回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：悪人/李 相日
- ・ 12月5日 「山路ふみ子先生7回忌納骨法要」
於：東京都港区・青山霊園
お斎：東京都港区・青山浅田

2012年(平成24年)

- ・ 3月12日 「山路ふみ子生誕100年感謝の集い」
於：東京都港区・東京プリンスホテル
- ・ 11月3日 第4回「名画特別上映会in信州なかの」
於：長野県中野市・中野市立市民会館 大ホール
- ・ 11月30日 第36回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：終の信託/周防 正行

2014年(平成26年)

- ・ 3月16日 第3回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・大正大学 5号館
- ・ 6月1日 第5回「名画特別上映会in秋田県にかほ市」
於：秋田県にかほ市・仁賀保勤労青少年ホームホール
- ・ 11月28日 第38回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：蝸ノ記/小泉 堯史

2003年(平成15年)

- ・ 11月28日 第27回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：たそがれ清兵衛/山田 洋次

2005年(平成17年)

- ・ 11月25日 第29回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：メゾン・ド・ヒミコ/犬堂 一心



2007年(平成19年)

- ・ 11月24日 第31回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：それでもボクはやってない/周防 正行

2009年(平成21年)

- ・ DVD「山路ふみ子物語」製作
- ・ 10月23日～25日 第1回「名画特別上映会in静岡県熱海市」
於：静岡県熱海市・起雲閣ホール
- ・ 11月27日 第33回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：ディア・ドクター/西川 美和

2011年(平成23年)

- ・ 6月15日 「命あるかぎり贈りたい」第2版を発行
- ・ 6月24日 青山霊園 山路(大久保)家墓所に「墓誌」建立
- ・ 7月2日 「山路ふみ子生誕100年記念上映会」
於：東京都中央区・東京国立近代美術館フィルムセンター
- ・ 10月9,10日 第3回「名画特別上映会in新潟県上越市」
於：新潟県上越市・高田世界館
於：新潟県上越市・上越市立リージョンプラザ大ホール
- ・ 11月25日 第35回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：一枚のハガキ/新藤 兼人
- ・ 12月8日 公益財団法人の認定等に関する法律の施工に伴う関係法律の整備等に関する法律等の規定に基づき、12月8日「公益財団法人山路ふみ子文化財団」として認定され、主務官庁も文部科学省から内閣府に変更となりました。
※第2回「学生映画コンクール」は東日本大震災のため開催延期

2013年(平成25年)

- ・ 3月16日 第2回「学生映画コンクール」
於：東京都千代田区・アキバシアター
- ・ 11月29日 第37回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：おしん/富樫 森

2015年(平成27年)

- ・ 3月7日 第4回「学生映画コンクール」
於：東京都豊島区・大正大学 7号館
- ・ 8月29日 第6回「名画特別上映会in岐阜・東白川村」
於：岐阜県加茂郡・東白川村役場 はなのき会館
- ・ 11月27日 第39回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：海街diary/是枝 裕和



2016年(平成28年)～2023年(令和5年)

2017年(平成29年)

- ・ 1月7日 第7回「名画特別上映会in佐賀県武雄市」
於：佐賀県武雄市・武雄市文化会館
- ・ 10月9日 第8回「名画特別上映会in北海道深川市」
於：北海道深川市・文化交流ホール み・らい
- ・ 11月3日 山路ふみ子文化財団「創立40周年記念史」刊行
- ・ 11月24日 第41回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：幼な子われらに生まれ/三島 有紀子

2019年(令和元年)

- ・ 6月12日 第9回「名画特別上映会in練馬区」
於：東京都練馬区・光が丘キリスト教会
- ・ 11月29日 第43回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：蜜蜂と遠雷/石川 慶

2021年(令和3年)

- ・ 11月26日 第44回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：すばらしき世界/西川 美和

2023年(令和5年)

- ・ 9月15日 第10回「名画特別上映会in神戸市」
於：兵庫県神戸市・神戸市看護大学ホール
- ・ 11月21日 第11回「名画特別上映会in東京清瀬市」
於：東京都清瀬市・国立看護大学校講堂
- ・ 12月3日 第12回「名画特別上映会in宇都宮市」
於：栃木県宇都宮市・大谷コネクト

表紙のデザインについて
山路先生は、花の魁となる「梅の花」が
大好きだったことから、表紙に薄紅梅を
暈してレイアウトしてみました。

2016年(平成28年)

- ・ 3月7日 第5回「学生映画コンクール」
於：東京都新宿区・東京富士大学 二上記念講堂
- ・ 9月26日 「山路ふみ子文化財団創立40周年記念史編纂委員会」を
発足
- ・ 11月25日 第40回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：怒り/李 相日
- ・ 12月4日 「山路ふみ子先生13回忌法要」
於：東京都港区・青山霊園
お斎：東京都千代田区・都市センターホテル
「命あるかぎり贈りたい」改訂・増補版刊行

2018年(平成30年)

- ・ 11月30日 第42回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：寝ても覚めても/濱口 竜介

2020年(令和2年)

- ・ 2月8日 「山路ふみ子出演映画特別上映会」
於：東京都中央区・国立映画アーカイブ

2022年(令和4年)

- ・ 11月25日 第45回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画：千夜、一夜/久保田 直
- ・ 12月10日 「山路ふみ子先生17回忌法要」
於：東京都港区・青山霊園
お斎：東京都千代田区・都市センターホテル



山路ふみ子先生・墓所
港区青山「青山霊園」
1種口の20号7側1番



いい服を着て、美味しいものを食べて、楽しいのは一瞬の事、
自分の音と他の人と分かれ合う事で得られる心の豊かさは、
人生と云いかん意気あるものとしてくれることでしょう。

山路ふみ子

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 赤坂モートサイド1201

E-mail / yamajifumiko-cf@blue.ocn.ne.jp

TEL / 03-3479-1087 FAX / 03-3479-1086

<http://www.yamaji-fumiko.org/>

山路ふみ子文化財団

検索

注) 当財団の許可なく、いかなる複製も禁じます。令和6年5月16日

所管官庁 内閣府